

2021 年 6 月 4 日

ICOM 日本委員会会員 各位

ICOM 日本委員会  
委員長 青柳 正規

# ICOM 日本委員会 2021 年度年次総会について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当委員会の事業につきましては、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ICOM 日本委員会の年次総会につきましては、当初、5 月 15 日に開催するべく準備を進めて参りましたが、昨年引き続き、新型コロナウイルス感染予防の観点から書面による開催とさせていただくことといたしました。

つきましては、理事会にて承認された下記議案につきご確認ご検討いただき、各議案に対する賛否を添付の議決権行使書にて、6 月 15 日（火）までに事務局にメールまたはファックスでご返送ください。また、議案に対するご意見は通信欄にご記入ください。記録に留め個別に対応します。

なお、各団体会員代表者はそれぞれ議決権を保有しますので、個別に議決権行使書をご提出ください。また、賛助会員ならびに学生会員に議決権はありませんので提出は不要です。

皆さまにおかれましては、時節柄くれぐれもご自愛くださいますよう祈念申し上げます。

敬具

## 記

### 2021 年度 ICOM 日本委員会理事会ならびに年次総会議案

第 1 号議案：ICOM 日本委員会 2020 年度 事業報告・収支報告（案）について（資料 1-1）

ICOM 日本委員会 2020 年度決算監査意見（資料 1-2-①、②）

第 2 号議案：ICOM 日本委員会 2021 年度 事業計画・収支計画（案）について（資料 2）

第 3 号議案：ICOM 国際委員会の名称（訳語）変更について（資料 3-1）

理事からの意見（資料 3-2）

参考資料 1 「博物館の定義」20 のキーワード提案

参考資料 2 ICOM 日本委員会会員数

議決権行使書書式

以上

＜本件に対する問い合わせ先＞

ICOM 日本委員会事務局 仲谷、舟生  
〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-52  
公益財団法人日本博物館協会の内  
e-mail: icom@j-muse.or.jp  
fax : 03-5832-9109

## 第 1 号議案：2020 年度事業報告及び収支決算について

### 1. 2020 年度事業報告（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

#### （1）会議

- ア. 第 1 回理事会（5 月 18 日 書面 総会議案承認）
- イ. 総会（6 月 10 日 書面）
- ウ. 第 2 回理事会（6 月 30 日 書面 委員長・副委員長・監事選出）
- エ. ICOM 第 35 回総会（7 月 24 日 オンライン 福野副委員長ほか 5 名出席）

#### （2）主催事業

- ア. 「国際博物館の日」記念事業の実施  
全国の 141 館で 235 件の教育普及、入館料減免、記念品贈呈などの事業が企画されたが、コロナ禍による臨時休館などのため、実施報告があったのは 20 件あまりにとどまった。  
（文化芸術振興費補助金対象事業）
- イ. 「国際博物館の日」記念シンポジウムの開催  
5 月 16 日に京都国立博物館で開催する予定であったが、YouTube での配信に変更した。「平等を実現する場としての博物館：多様性と包括性」をテーマとし、林良博・国立科学博物館長と中村美亜・九州大学大学院芸術工学研究院准教授の基調講演のほか、パネルディスカッションを実施し、800 回を超える視聴があった。（文化芸術振興費補助金対象事業）
- ウ. ICOM 京都大会 1 周年記念シンポジウム-SDGs と博物館  
9 月 26 日に京都国立博物館において、京都大会で重要な課題として取り上げられた SDG をテーマとし、門川大作・京都市長と青柳正規委員長の基調講演のほか、パネルディスカッションを実施した。YouTube で同時配信し、1,700 件を超える視聴があった。また、当日午前中に、京(みやこ)エコロジーセンター見学会も行った。（文化芸術振興費補助金対象事業）

#### （3）諸活動

- ア. 「博物館の定義」見直し  
京都大会で採決延期になった「博物館の定義」見直しについて、2020 年 6 月と 2021 年 2 月に全会員を対象に行った意見募集に基づき、60 名を超える会員の参加を得て 3 月 27 日にオンラインでフォーラムを開催して、日本委員会として定義に入れるべき 20 のキーワードの絞り込みを行い、本部に提案した。（参考資料 1 「博物館の定義」20 のキーワード提案）
- イ. 会員優遇施設調査  
ICOM 会員に対する入館料減免等の優遇措置について、日博協会員館園を対象に調査を行い、優遇を提供する約 300 館園をホームページで公開した。
- ウ. 第 19 回 Best in Heritage  
第 1 回日本博物館協会賞受賞のちひろ美術館が選出されたが、現地（クロアチア）での会議・授賞式は実施されなかった。オンラインでの発表が行われ Best in Heritage のウェブサイトを紹介された。
- エ. 国際委員会の活動

ほとんどの国際委員会の会議がオンラインで開催されたことにより、多くの会員がリモートで参加する機会に恵まれた。

また、ICMS（博物館セキュリティ国際委員会）については、杉浦智 ICMS 理事を中心として同委員会の日本委員会が発足し、2月26日にオランダ・アムステルダム国立美術館・レイモンド・デ・ヨング安全セキュリティ部長を講演者とするオンラインセミナーを開催した。

#### （４）会員拡充・広報

ア．個人会員数が511名から536名に25名増加。団体会員に変動はなかった。（参考資料2 ICOM 日本委員会会員数）

イ．日英2か国語による公式ホームページを刷新するとともに Facebook の運用も本格化した。会員からの寄稿の定期的掲載するなどコンテンツも大幅に拡充した。（文化芸術振興費補助金対象事業）

ウ．非会員も対象としたニュースレターの第1号を発行した。

### 2. 2020年度収支決算（案）（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### <収入の部>

単位(円)

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
会費*	11,500,000	10,418,700	530人**、50団体(入会金含む)
寄附金	—	5,000	
雑収入	100	46	預金利息
前期繰越金	3,533,809	3,533,809	
計	15,033,909	13,957,555	

#### <支出の部>

単位(円)

科 目	2020年度予算額	2020年度決算額	備 考
会費*	9,000,000	8,494,197	ICOM 本部に送金した会費
負担金	20,000	20,000	日本ユネスコ協会連盟会費
事業費***	3,300,000	174,858	HP 更新、資料翻訳
事務費	1,450,000	1,461,101	
会議費	100,000	2,541	
通信費	200,000	145,132	
消耗品費	150,000	117,222	
印刷製本費	250,000	0	
旅費	300,000	115,996	
賃金	400,000	1,052,700	
雑費	50,000	27,510	
予備費	200,000	0	
次期繰越金	1,063,909	3,807,399	
計	15,033,909	13,957,555	

\* 本部が定める会費に20%を加算して年会費としている

\*\* 2021年1月～3月の新入会員は2021年度より会費納入のため含まれず

\*\*\* 文化庁補助金の活用による支出削減

以上

2020年度 ICOM 日本委員会決算書

監査の結果、ICOM 日本委員会2020年度決算の帳簿証憑書類等が正確に  
処理されていたことを認めます。

2021年5月5日

監 事


駒見和夫

## 2020年度 ICOM 日本委員会決算書

監査の結果、ICOM 日本委員会2020年度決算の帳簿証憑書類等が正確に  
処理されていたことを認めます。

2021年 5月11日

監 事

笠原美智子 

## 第 2 号議案 2021 年度事業計画ならびに収支予算について

### 1. 2021 年度事業計画（案）

#### （1）会議

- ア. 5 月下旬の日本委員会理事会及び 6 月上旬の総会の開催  
（新型コロナウイルス感染予防対策として、書面により開催）
- イ. 2021 年 ICOM 臨時総会、第 36 回総会：6 月 18 日に開催予定（オンライン）
- ウ. その他必要に応じ諸会議の開催

#### （2）諸活動

##### ア. 日本委員会の活動の活性化

京都大会以降も増加傾向が続いている国内の会員に、博物館を取り巻く ICOM を中心とする国際情勢に関する情報を的確に提供するとともに、国内でも必要な議論を進められる体制の整備に務める。また、コロナ禍の続く中で、昨年同様オンラインでの開催が多く予定されている国際委員会の会議等について、会議開催等の情報提供に務める。

##### イ. ICOM 京都 2019 のレガシー継承事業（ICOM-DRMC の総会・シンポジウムの開催）

京都大会で新たに誕生した「博物館防災国際委員会」の年次総会・シンポジウムを、ICOM 日本委員会・日本博物館協会、国立文化財機構および同機構に設置された博物館防災センター等との連携の下に、11 月に東京で開催する。また、東日本大震災から 10 年を迎える節目として、岩手県立博物館や陸前高田市立博物館等と連携し、東京でのシンポジウムに続き、陸前高田市等の被災地の視察とともに現地でのシンポジウムを ICOM-DRMC 等との共催で開催し、博物館における防災対応について国際的な議論を深める。

##### ウ. 「国際博物館の日」記念事業の実施

各館の記念事業実施を奨励し、ポスターを作成して広く配付し周知を図る。また、本年の国際博物館の日のテーマ「博物館の未来 - 再生と新たな発想」の下にシンポジウムを開催し、コロナ禍での取組を踏まえた、これからのあるべき博物館像を考える。

##### エ. 「博物館の定義」「博物館倫理規定」の見直し検討

2022 年の ICOM プラハ大会での採択を目指して検討が続けられている新たな博物館定義について、引き続き情報共有に努めつつ、国内委員会として求められる検討について、広く会員の意見を集約し、積極的に新定義の検討に参画する。また合わせて検討中の「博物館倫理規定」の見直しに関しても、本部での見直しについての情報を共有し、国内での検討を行い、日本の「博物館の原則、博物館関係者の行動規範」の見直しに反映させる。

##### オ. 公式ホームページ、Facebook のコンテンツの充実、情報発信機能の強化

昨年リニューアルした日本委員会公式ホームページや Facebook による情報発信の充実に向け、最新の情報提供や、会員からの投稿等コンテンツの充実を図るとともに、参考資料等のアーカイブ化を促進する。

##### カ. Best in Heritage への日本博物館協会賞受賞施設の推薦

第 2 回日本博物館協会賞を受賞した福井県年縞博物館を推薦する。

2. 2021年度収支予算（案）

（2021年4月1日～2022年3月31日）

<収入の部>

単位(円)

科 目	2021年度予算額(案)	2020年度予算額	備 考
会費	10,650,000	11,500,000	対2020年度実績2%増 預金利息等
雑収入	50	100	
前期繰越金	3,807,399	3,533,809	
計	14,457,449	15,033,909	

<支出の部>

単位(円)

科 目	2021年度予算額(案)	2020年度予算額	備 考
会費	8,660,000	9,000,000	対2020年実績2%増 日本ユネスコ協会連盟会費
負担金	20,000	20,000	
事業費*	2,500,000	3,300,000	
事務費	2,150,000	1,450,000	
会議費	50,000	100,000	
通信費	200,000	200,000	
消耗品費	150,000	150,000	
印刷製本費	200,000	250,000	
旅費	300,000	300,000	
賃金	1,200,000	400,000	
雑費	50,000	50,000	
予備費	200,000	200,000	
次期繰越金	927,449	1,063,909	
計	14,457,449	15,033,909	

\*事業費内訳：ホームページ管理・運営 500,000 円

ICOM-DRMC 開催 1,000,000 円

博物館定義・倫理規定検討会開催、その他 1,000,000 円

以上

2021年4月27日

ICOM 日本委員会  
委員長 青柳 正規 様

地方博物館国際委員会（ICR）  
理事 五月女 賢司

### 第3号議案：ICOM 国際委員会の名称（訳語）変更について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より地方博物館国際委員会（ICR）の運営に格別のご理解を賜り、あつくお礼申し上げます。

さて、現在私が理事を務める ICOM 国際委員会の一つである ICR（International Committee for Regional Museums）は、ICOM 日本委員会においては、「地方博物館国際委員会」と訳されています。しかし、博物館を取り巻く国際的な議論等に照らし「Regional Museums」の活動は「地方」としてではなく「地域」として語られるのが主流となっています。

つきましては、現在「地方博物館国際委員会」と訳されている当国際委員会の日本語名称を、「地域博物館国際委員会」へと変更いただきたくご依頼申し上げます。

現在私が勤務する吹田市立博物館も、同様に「地方博物館」と呼ばれることがありましたが、最近「地域博物館」として活動しているところです。

以上、ご検討のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



理事二名より以下の意見が寄せられました。

①

「地域」は local であって、regional ではないという整理になっていたと思います。  
regional は local よりも広い概念で、local が京都であれば regional は関西です。「関西地方」とは言いますが「関西地域」とはあまり言いません。これは国際的な議論とは関係なく、言葉の使い方の問題です。特に、IC\*には別途 CAMOC（都市博物館国際委員会）があり、「地域」とすれば都市も含むことになります。CAMOC と ICR の役割分担の観点から、local ではなく regional であると考えれば、日本語もまた「地方」が適切ではないでしょうか。要検討です。

\*IC=International Committee (国際委員会)

②

「地方」は中央・都市・都会と地方という二項対立のイメージがあり、「地域」は地方・都市に限らず、住民が活用できる、身近にあるという意味での博物館ですので、「地域博物館」の方がいいかと思います。これは ICOM 委員会に限らず、国内においても同様なことを進めていることと思います。よろしくお願い致します。

Form Name:	ICOM Define Consultation 2
Submission Time:	April 20, 2021 6:32 am
Browser:	Chrome 89.0.4389.114 / Windows
IP Address:	120.51.210.226
Unique ID:	794824808
Location:	

## Identification

<b>Name of the National or International Committee, Regional Alliance or Affiliated Organisation to which the answers to the following form correspond (only one form can be submitted by each NC, IC, RA, AO)</b>	Japan
--	-------

<b>Name of person answering the form on behalf of the NC, IC, RA or AO (please fill out the form only if you are the person who is authorized to do so by your NC, IC, RA or AO)</b>	Masayuki HANDA
--	----------------

<b>ICOM membership number</b>	64240
-------------------------------	-------

<b>Email address</b>	icom@j-muse.or.jp
----------------------	-------------------

<b>I have been authorized by the board of my NC, IC, RA or AO to submit this form</b>	Yes
---	-----

<b>Please provide a brief description of the participatory methods and activities developed by your NC, IC, RA, AO with its members to reach the results included in this form.</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>- Surveys among all ICOM Japan members in February and March before the online Open Forum sponsored by ICOM Japan.</li><li>- Disclosure of the results to the members providing ample time for reflection followed by opinion exchanges on the online Open Forum.</li><li>- Selection of the Keywords reflecting diverse viewpoints from museum professionals without sacrificing the UN's Agenda 2030 and the SDGs.</li></ul>
---	--

<b>Please indicate the percentage of Committee members involved in the process</b>	100%
--	------

## Keywords and concepts

<b>1. Keyword / Concept</b>	Accessibility
-----------------------------	---------------

<b>1.1. Description</b>	The Covid-19 pandemic became a lesson that provided opportunities to find creative and innovative ways to ensure accessibility to their visitors.
-------------------------	---

<b>2. Keyword / Concept</b>	Collection
-----------------------------	------------

<b>2.1. Description</b>	The universal and basic function for museums in all cultures. This was emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015.
-------------------------	--

<b>3. Keyword / Concept</b>	Communication
<b>3.1. Description</b>	The universal and basic function for museums in all cultures. This was emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015.
<b>4. Keyword / Concept</b>	Conservation
<b>4.1. Description</b>	A universal and important keyword that reflects the current definition and mission indicated by the ICOM Statutes.
<b>5. Keyword / Concept</b>	Cultural heritage
<b>5.1. Description</b>	A universal and important keyword that reflects the current definition and mission indicated by the ICOM Statutes
<b>6. Keyword / Concept</b>	Cultural hub
<b>6.1. Description</b>	Cultural hubs become a platform where knowledge is shared and created. They can address difficult social issues and encourage social participation.
<b>7. Keyword / Concept</b>	Dialogue
<b>7.1. Description</b>	Dialogues are essential for museums where it can function as a forum to mitigate tensions created among different groups, locally and globally.
<b>8. Keyword / Concept</b>	Diversity
<b>8.1. Description</b>	The importance of diversity was emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015 and the Resolutions of ICOM General Conferences in past decades.
<b>9. Keyword / Concept</b>	Education
<b>9.1. Description</b>	A universal and basic function keyword that reflects the current definition. Education is emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015.
<b>10. Keyword / Concept</b>	Educational opportunity
<b>10.1. Description</b>	Providing opportunities for a learning and educational experience for all visitors is one of the basic roles of museums.
<b>11. Keyword / Concept</b>	Equity
<b>11.1. Description</b>	Equity policies and actions can create a more diverse and inclusive museum that reflects its staffing, business practices, and communities.
<b>12. Keyword / Concept</b>	Exhibition

<b>12.1. Description</b>	A fundamental function of the museum that the current definition indicates.
<b>13. Keyword / Concept</b>	Human rights
<b>13.1. Description - Copy</b>	Museums can function as protecting and promoting the values outlined in the globally agreed document.
<b>14. Keyword / Concept</b>	Inclusion
<b>14.1. Description</b>	A universal and important idea for all kinds of museums. This is emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015 and Resolutions of ICOM Kyoto.
<b>15. Keyword / Concept</b>	Learning
<b>15.1. Description</b>	A fundamental concept of which provided different interpretations from "education", showing a diverse and interactive point of view in the museum.
<b>16. Keyword / Concept</b>	Preservation
<b>16.1. Description</b>	A fundamental for museum activities that can provide different interpretations from "conservation" and show a diverse point of view in the museum.
<b>17. Keyword / Concept</b>	Research
<b>17.1. Description</b>	A fundamental function of the museum. A universal and important keyword that reflects the current definition and mission of the ICOM Statutes.
<b>18. Keyword / Concept</b>	Respect
<b>18.1. Description</b>	An important concept for the museum to acknowledge and recognise with concern to legacies and the continuous presence of deep societal inequalities.
<b>19. Keyword / Concept</b>	Sustainability
<b>19.1. Description</b>	A universal and important idea for all kinds of museums. This is emphasized in the Recommendation of UNESCO in 2015 and the Resolutions of ICOM Kyoto.
<b>20. Keyword / Concept</b>	Well-being
<b>20.1. Description</b>	One of the most important concepts for museum management. The coronavirus crisis emphasizes its significance as fundamental for museum activities.

---

## Information regarding the General Data Protection Regulation (GDPR)

---

**By submitting my online form, I** ☐ **I agree**  
**acknowledge that I have read and**  
**understood the information provided in**  
**this form and in the ICOM Privacy Policy**

---

## ICOM 日本委員会会員数 (2021.3.31 現在)

個人：536名（内訳：正会員 436 退職会員 53 学生会員 38 賛助会員 9）

団体：50団体（内訳：正会員 47 賛助会員 3）

### <会員数推移（各年度末）>

西暦	和暦	合計	個人		団体	
				(賛助)		(賛助)
2020	令和 2	586	536	9	50	3
2019	平成 31/令和 1	561	511	7	50	3
2018	30	403	362	2	41	1
2017	29	275	240	-	35	-
2016	28	275	239	-	36	-
2015	27	219	186	-	33	-
2014	26	185	157	-	28	-

### <国別 ICOM 会員数>

2019.12 末現在

国 名	個人会員	団体会員	計	対 前 年
ドイツ	6,086	257	6,343	+242
フランス	4,900	455	5,355	+510
オランダ	5,096	75	5,171	+557
イタリア	2,446	169	2,615	+365
アメリカ	2,310	78	2,388	+360
イギリス	2,251	75	2,326	+377
オーストリア	2,026	96	2,122	+211
デンマーク	1,695	66	1,761	+73
スイス	1,710	65	1,775	+88
ベルギー	1,514	110	1,624	+172
日 本	489	49	538	+136
中 国	288	67	355	+62
韓 国	70	38	108	+19
その他	14,999	1,451	16,450	+1,073
計	45,880	3,051	48,931	+4,245